



あー  
おめでと  
うござ  
います

広報



## Contents

|             |        |
|-------------|--------|
| まちの話題       | ・・・ 2  |
| 町長随筆、クイズ    | ・・・ 4  |
| 3才で〜す、文芸    | ・・・ 5  |
| 情報BOX       | ・・・ 6  |
| すまいる        | ・・・ 13 |
| シリーズ「キラリ保育」 | ・・・ 14 |
| 民生委員、卯年生まれ  | ・・・ 16 |
| 大河ドラマと弘誓寺   | ・・・ 18 |
| 暮らしのカレンダー   | ・・・ 20 |

ウサギ だ〜いすき（とばっ子保育園）

1

2011  
No. 69



# まぐの話題

※広報紙に「あなた」の写真が写って  
いましたらご連絡ください。  
写真をさしあげます。  
(企画情報課 TEL45-9110)



## かんたけ 寒茸、収穫楽しみ (11/16)

気山小学校で全校児童 57 人が参加して「越前カンタケスクール」が開かれました。

このスクールは、栽培体験を通して県特産ブランド品の「越前カンタケ」を広く知ってもらい、消費拡大につなげようと県が実施したもの。

児童たちは、県の担当者から山や森の働きについて説明を受けたあと、中庭に出て、プランターにカンタケ菌床を入れ、その周りに土を敷き詰めていきました。

越前カンタケは数日に一度の水やりで、冬季間に 2～3 回収穫できるもの。児童たちは「キノコは好き、収穫が楽しみ」と話していました。



▲菌床の周りに土を敷き詰める児童



▲飛永さん (左から 3 人目) たちと山内かぶら (右手前)



## 伝統野菜、復活 (11/19)

生産が滞っていた町の伝統野菜「山内かぶら」が約 50 年ぶりに収穫され、町内の直売所に出荷されました。

山内かぶらは、サクサクした食感で香りが強いのが特徴。主に山内集落で生産されていましたが、約半世紀前から作り手がいなくなっていたもの。

そこで、町が毎年種取りをしていた同集落の飛永悦子さんに呼びかけ、9 月から飛永さんと集落の方々が出荷にむけた栽培を始めました。

このかぶらは町外のスーパーからも引き合いが来ており、今後は、生産組合を設立する予定で、新たな調理方法なども探っていくとしています。



## 1 日も早い解決を (11/21)

町内外から約 500 人が参加して、パレア若狭で「拉致問題の早期解決と特定失踪者の真相究明を願う集会」が開かれました。

集会では、平成 9 年に突然行方不明となり特定失踪者に登録されている宮内和也さん (当時 32 歳、三方町職員) の父・和見さんが、「わたしたちは高齢化している。一日も早い真相究明のため、皆さんの温かい支援をお願いします」と訴えました。

また、予備役ブルーリボンの会により「道案内を装い、襲う」などの拉致の手口が実演され、会場には緊迫感が漂っていました。



▲パネル討論会



▲拉致の手口の実演



## 右側通行、守ろうね (11/30)

道路を安全に通行することを学ぶ交通安全教室が気山保育所で行われました。この日参加したのは4、5歳児21人。

園児たちは、イラストを使った劇を見て、右側通行の交通ルールを学んだあと、保育所前の道路に出て敦賀警察署の交通巡視員や町の交通指導員の指導で右側通行を練習しました。

園児たちは、左側通行は後ろから来る車が見えず危険であることや手を上げて左右をよく確認して道路を渡ることを学びました。

この教室は、9～11月にかけて町内保育所で開かれたもので、2～3月には、さらにステップアップした内容で行われることになっています。



▲交通ルールを学ぶ園児



▲講師（左）からアドバイスを受ける参加者



## もっとステキに大変身 (12/2)

自分に磨きをかける講座「魅力アップセミナー」がパレア若狭で開かれ、町内の20～35歳の未婚の男女32人が参加しました。

このセミナーは、その人の個性を引き出し、魅力を高めようとするもので、若者の出会いにつなげてもらおうと、町が初めて企画。

この日の講師は、カラーコーディネーターの大嶋歩さんで「自分に似合う色を知る方法や色と人との関係」についてアドバイスし、参加者はシーンに合った色のコーディネートなどを学びました。

このセミナーは4回シリーズで行われ、「コミュニケーション術」「好印象な表情づくり」「テーブルマナー」についても、自分磨きを重ねました。



## 税金って、なあに? (12/3)

みそみ小学校の6年生25人が、若狭町役場を訪れ、税金について学習しました。

この学習は、公園や図書館などの身近な公共施設が税金でつくられていることを知り、税金への理解を深めてもらうことを目的に町などが実施。

児童たちは、町の税務担当者から、税金が使われている身の周りの施設について説明を受けた後、ビデオを見たり、〇×クイズで税の仕組みについて学びました。

続いて、町議会の議場を見学。町長席や議員席につき、質問と答弁を疑似体験しました。参加した児童は、「税金がないと火事や病気の時大金が必要になって大変」などと話していました。



▲議場を見学する児童

きずな

# 絆

～対話と実行～

若狭町長 森下 裕

## 福祉と文化の祭典

「ハート&アートフェスタ 2010」

11月12日から14日の3日にわたり「福祉と文化の祭典 ハート&アートフェスタ」が開催され、今年で4年目を迎えました。

このイベントは若狭町における福祉と文化ゾーンの核である「パレア若狭」と「歴史文化館」を拠点に関係団体のアイデアを結集し、子どもから高齢者までの誰もが楽しめる福祉と文化が融合したイベントであります。

催し物はパレア若狭の音楽ホールで行われた幼児向けの「音楽会」、笑顔であふれた「落語独演会」、「いのち」をテーマとした「映画」、「認知症一行詩全国コンクール入賞者の

表彰式・入賞者作品の朗読」、「松野明美福祉講演会」など多種にわたる企画を実施しました。

また「伝統文化のつどい」では石見神楽と共に瓜生、向笠、藤井、山内集落の古くから伝わる伝統芸能発表で多くの来場者を魅了しました。

一方、子どもたちを対象とした各種体験コーナーなどでもパレア若狭に親近感を持つことができ、実行委員および関係団体の皆様のご尽力により、今後も気兼ねなく立ち寄っていただくきっかけづくりとなったことと感じております。

また、今回の特徴として福井県初開催となる障害者の方を対象としたアート作品展、「きらりアート展」を同時開催し、県内からの182作品全て

に躍動感あふれる自由な思いが込められていたことに感動し、今後の活躍に期待を抱いている次第です。

若狭町には文化や芸術にひたる環境が“パレア若狭”にあります。

10月末に開催された文化祭に続き多くの皆様にご来場いただいております、これにこたえるべく今後も様々な事業を展開し一人でも多くの皆様のご来場を祈念いたします。

“パレア”とは「人々との交流、つきあい、仲間」を意味するギリシャ語で、地元において文化や芸術にひたり多くの方々との交流を図っていくことが地域に愛着を持つことにつながると考え、住民主体のまちづくりがさらに発展することを願っています。

## 広報クイズ

しりとり  
うずまき  
クイズ

### ■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。4つある赤いマスの文字を並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想や意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393 若狭町企画情報課」（住所は省略可）まで送ってください。E-mailでも受け付けます(kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp)。正解者の中から抽選で5人に図書カードが当たります。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締切 1月15日(土) 必着。

### ◇キーワード◇

- ①平成23年のえとは
- ②多くの人や物などが列をつくって並ぶこと
- ③足の指の先のこと
- ④結婚50周年を祝う式
- ⑤三方駅と美浜駅の間にある駅を
- ⑥磁石、磁気のこと
- ⑦おおみそかの夜に食べるそばを
- ⑧釣り合い。均衡。Balanceと書く
- ⑨電気を流したりとめたりする装置
- ⑩始業前にあいさつや連絡を行う朝の行事

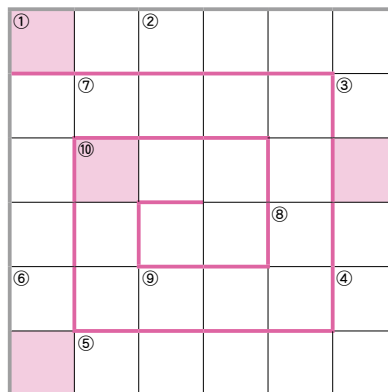


◀◀携帯でアクセス  
メールでも応募してネ

### 【ヒント】

約50年ぶりに出荷された  
町の伝統野菜は？

《答え》 ○○○○かぶら





# HAPPY BIRTHDAY

## 3歳です

1月に3歳を迎えるお子さまです。  
応募いただいた方に登場してもらっています。  
今回は平成20年1月生まれの3歳になるお子さまです。



中西 優吉くん

1月17日生まれ（若葉）

親：明彦・直美さん

お姉ちゃんたち、  
いつも遊んでくれてありがとう



北川 叶空くん

1月20日生まれ（天徳寺）

親：真・香緒里さん

我が家のマスコット第三弾！  
皆に笑いを振りまいてま〜あ♡



松下 真叶くん

1月27日生まれ（上野）

親：朗弘・寿子さん

お兄ちゃん、ミラクルだいまき  
いつも遊んでくれてありがとう♡

次回は平成20年2月生まれのお子さまが対象です。掲載ご希望の方は、写真と25字以内のコメント、生年月日、ご両親のお名前、連絡先を添えて企画情報課または上中サービス室へ提出してください。1月5日（水）必着です。

## 文芸ひろば

### 冠句

#### 若狭町冠句の会

挑戦す人となる日の試金石  
里ことば素顔優しい遠会釈

松村 祥風（鳥浜）  
大上 晴雪（三田）

### 川柳

#### ほつと川柳

B級グルメ外反拇趾も走り出す  
丸テーブル席順無しのうまい酒  
料理店美味しさ誘う盛り合わせ  
舟盛りの刺身が踊る忘年会

市野千恵子（三方）  
山田 和枝（倉見）  
中塚よしゑ（脇袋）  
新田 恭子（玉置）

#### 川柳湖畔

### 短歌

#### 上中短歌会

ふたたびは巻きたくもなしこのカラー  
癒えて押し入れの奥にしまいぬ  
喜寿となりて初めて勤めし分校の  
うつり変りし山里におどろく

岡本 久恵（三宅）  
鹿野 公夫（飯屋）

#### かをり歌会

晩秋の温き陽ざしに庭先の  
白きさざんか咲き盛りつつ  
柚子の黄と野バラの赤のコントラスト  
短かき秋の陽だまりいろどる

須磨 悌（気山）  
中西 友信（向笠）

### 俳句

#### 五湖俳句会

満天に雲なし里を照らす月  
幼な顔少し残して木の葉髪  
天高し雲の上なる父と母  
豊の秋六十路の米の重かりき

橋本 鷺光（安賀里）  
内藤 美子（安賀里）  
竹中 和恵（藤井）  
吉田多々詩（東黒田）

#### 若狭膳俳句会